

徳島津田バイオマス発電所の商業運転開始について

2023年12月11日
大阪ガス株式会社

大阪ガス株式会社（代表取締役社長：藤原 正隆、以下「大阪ガス」）と株式会社レノバ（代表取締役社長 CEO：木南 陽介、以下「レノバ」）等が共同出資する徳島津田バイオマス発電所（以下「本発電所」）は、12月9日に商業運転を開始しました。本発電所は木質ペレットとパーム椰子殻（PKS）を主な燃料とし、大阪ガスが出資するバイオマス専焼発電所では最大規模（発電容量7万4,800kW）です。また、Daigas グループとしては、松阪木質バイオマス発電所、市原バイオマス発電所に続く3ヶ所目のバイオマス専焼発電所の運転開始となります。

今後は地元パートナーによる燃料の荷揚・輸送や設備メンテナンス等のサポートのもと、大阪ガスとレノバのバイオマス発電に関する知見を組み合わせ、安全で安定的な事業運営に努めてまいります。また、木材工業団地に隣接した立地を活かし、将来的には地元産材を燃料に活用することも検討していきます。

Daigas グループは2050年のカーボンニュートラル実現に向け、2030年度までに自社開発や保有に加えて、他社からの調達も含めて、国内外で500万kW^{*1}の再生可能エネルギー（以下「再エネ」）電源の普及に貢献することを目指しています。

今後も、再エネの電源開発及び再エネ電気の供給を通じて、低・脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

*1：建設中や既に意思決定済みの案件及びFIT制度の適用電源を含む

【徳島津田バイオマス発電所の概要】



事業主体	徳島津田バイオマス発電所合同会社
建設地	徳島県徳島市津田海岸町9
発電容量	7万4,800 kW
想定年間送電量	約500百万 kWh (一般家庭約15万世帯の年間使用電力量に相当)
使用燃料	木質ペレット、パーム椰子殻 (PKS) 他
運転開始	2023年12月9日 (土)
出資会社	株式会社レノバ (60.8%)、 大阪ガス株式会社 (33.5%)、 株式会社フォレストバンク (1.9%)、 株式会社ダイリ FPC (1.9%)、 徳島電機産業株式会社 (1.9%)

以上